

<発表資料>

- 社史・アーカイブ総合研究所 - 社史「効果と活用」の現状 その1

社史を作ったことによる効果は、あったのでしょうか。あったのなら、どのような効果をもたらしたのでしょうか。また、どのように活用されているのでしょうか。

出版文化社では以前、社史を作らせていただいた関東圏と関西圏の企業41社を対象に、「社史の活用度調査」を行いました。社史を担当された方、または社史の活用度がわかっている方にご回答いただき、36社の有効回答を集計しました。ご参考にご紹介します。

社史の効果についての質問に対し、代表者では「歴史への感謝」が圧倒的多数を占めました（図1）。歴史といっても、歩んできた歴史そのものと、その歴史を作った先達とお客様への感謝の気持ちが込められています。

2番目に多かったのは「当社の本質が理解できた」という回答でした。社史は本来こういう目的のために作られるものだと思います。

一方、従業員は「会社のことを理解するようになった」ことに最も効果がありました（図2）。2番目は「歴史への感謝」が挙がりました。社史を通して労使の意識が重なって行くことがわかります。

図1：社史の効果について①
代表者の意見（票数）

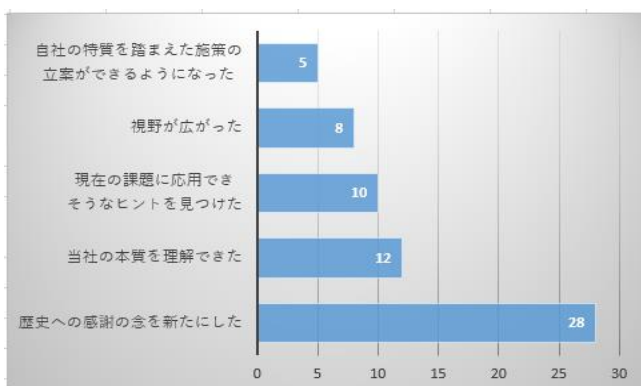
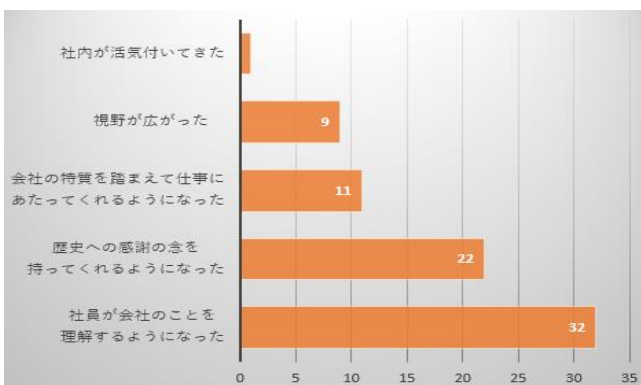


図2：社史の効果について②
従業員の意見（票数）





〒104-0033 東京都中央区新川1丁目8-8 アクロス新川ビル 4F
TEL 03-6824-9113 FAX 03-6824-9110 ✉ info@shashi-archive.jp 担当：鈴木

<https://shashi-archive.jp/>

No.00043

2022年11月10日

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が独自に収集したデータを基に作成しております。その正確性と最新性の確保に努めていますが、完全性を保証するものではありません。調査、分析、統計処理等によってその都度データを更新する場合があります。当資料の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。利用に際しては御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。その他、当資料の取り扱い事項は当研究所の会員規約に準じます。

(著作権について)

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。
当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

- 組織情報 -



ビジネスのDNAを次世代に伝える

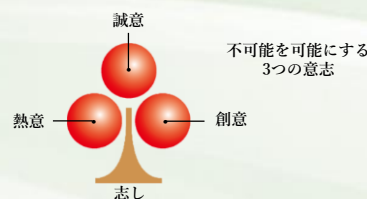
出版文化社

【代表者】
代表取締役社長 浅田厚志
【創立】
1984年2月6日
【資本金】
99,234,300円

【東京本部】
東京都中央区新川1-8-8
アクロス新川ビル4F
TEL：03-6823-6820（代）
【大阪本部】
大阪市中央区久太郎町3丁目4-30
船場グランドビル8F
TEL：06-4704-4700（代）
【名古屋支社】
名古屋市熱田区五本松町7-30
熱田メディアウイング3F
TEL：052-990-9090（代）

Learning Organization

豊富な実績を基に多様な社史・記念誌づくりを提案します。
編集は自社内で一貫して行っています。
専門家＝アーキビストが常駐しています。
品質管理、情報セキュリティのISOを取得している日本唯一の出版社です



-社史とアーカイブに関する日本初、唯一のシンクタンク-



社史・アーカイブ総合研究所

CORPORATE HISTORIES AND ARCHIVES RESEARCH INSTITUTE

社史・アーカイブ総合研究所は『社史・記念誌の有効活用と、ビジネス・アーカイブの普及への貢献』という大きな目標を掲げ、2019年に設立した専門研究機関です。社史とビジネス・アーカイブに関する情報の収集、コンテンツの企画と発信を行っています。

運営組織 社史・アーカイブ総合研究所
英文 Corporate Histories and Archives Research Institute
代表者 小谷允志
設立 2019年10月1日
研究員数 10名（東京6名・大阪4名）